

令和6年度事業報告

公益財団法人国際協和奨学会が令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)において実施いたしました事業につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

1 公益目的事業

(1) 私費外国人留学生及び日本人海外留学生(以下、「留学生」と略します)に対する奨学金の支給

令和6年度(以下、「昨年度」と略します)において奨学金を支給した留学生は、7名に対して総額9,480,000円を支給しました。(詳細 別紙1)

(2) 学業報告について

昨年度において奨学金を支給した留学生から提出のあった学業の実績報告は別紙2の通りです。

(3) 令和7年度奨学生(第40回生)の採用について

令和7年度(以下、「本年度」と略します)より新たに奨学金を支給する留学生は、選考委員会において公正かつ厳正な審議及び第47回理事会の承認を経て、第40回生として外国人留学生6名及び日本人海外留学生1名が採用されました。なお、日本人海外留学生は、留学先の合格を条件とする。

したがって、本年度において奨学金を支給する留学生は第39回生と合わせて11名であります。(詳細 別紙3)

(4) 留学生に対する生活指導及び助言等

① 奨学金を支給する留学生に対しては、従来通り、毎月の奨学金支給日における面談等を通して、適宜、指導及び助言等を行いました。

② 研修会・オリエンテーション実施

令和5年6月には、首都圏外郭放水路と大谷石資料館へ社会見学、9月6日～8日で2泊(うち船中1泊)3日の八丈島研修旅行を開催した。令和7年2月20日の学業報告会は、会場を星稜会館として、プロジェクターを使用し奨学生から詳細な報告がなされた。学業報告の後は、38回生及び39回生の送別会をレストランで行い、奨学生間の懇親を深める機会も設けた。

(5) 資産の運用

基本財産(276百万円)の運用は円高の影響により、本年度は10,783,464円の運用実績となりました。前年比75.7%と減少。

以上